

今後の予定

第 104 回 3 月 21 日(木) 13:00 オリオンルーム

『トランプ政権の今後の展望』

渡辺 靖氏 アメリカ研究家、文化人類学、慶応義塾大学 SFC 教授
上智大学卒、92年ハーバード大学大学院修了

2020年11月3日に大統領選を迎えるトランプには幾多の関門がある。行政機関の麻痺を招いているメキシコ国境壁問題、2月に予想される第2回目の米朝非核化交渉、3月1日に期限の来る米中通商交渉期限、6月の民主党候補者の討論開始、その後20年に選挙戦が本格化する。別途、ロシア疑惑の追及も受ける。その過程においてトランプの政治生命は如何なる道程を辿るのか。

第 105 回 4 月 18 日(木) 13:00 オリオンルーム

『日本の社会主義—戦前の思想・運動と群像』

加藤 哲郎氏 一橋大学名誉教授 政治学

日本の明治時代以降、近代国家形成過程に興る社会主義運動について、高揚と弾圧の歴史を振り返る。黎明期の片山潜、幸徳秋水から堺利彦、山川均、大杉栄、荒畑寒村等の運動、吉野作造、福田徳三の黎明会、その後コミンテルン日本支部としての日本共産党の誕生とその弾圧、転向について俯瞰する。

第106回 5月16日(木) 13:00 オリオンルーム

『メルケル時代の終焉、ドイツ・EUの今後』

早瀬 勇氏 全国日独協会連合会副会長 元星稜大学学長
一橋大34年卒

トランプが煙たがり、プーティンが頼りにするEUのリーダー、人道主義に根差し、労働人口減少を見越して大量の難民を大胆に受け入れたメルケル独首相が、国際政治の舞台を去る。EUのみならず欧州全体が未曾有の歴史的転換点に立っている。

欧州の前途や如何。